

## 第6回 橋本市インターネット政策モニター 結果 ～助け合い活動を始めるにあたって～

### ■実施概要

橋本市インターネット政策モニターは、市民のみなさんがどのように考えているのかを速やかに把握し、迅速に市政に反映していくために平成29年4月に創設しました。インターネットを利用して市政の課題や施策に関するアンケート調査にご協力いただけるモニターを公募し、アンケート調査を実施しています。

今回の政策モニターは、いきいき長寿課が担当です。2025年、団塊の世代が75歳以上になり超高齢社会を迎え、介護や医療サービスだけでなく地域社会全体で助け合う活動が求められます。そこで、地域での助け合い活動をはじめるにあたって、市民の皆さんがどのように考えておられるのかご意見をお聞きしたいと考え、実施しました。

### ■回答期間

平成31年2月27日～平成31年3月13日

### ■調査対象・回答数

登録者：41人 回答者：13人

### ■質問項目・回答者数

問1. あなたが、将来高齢になったとき、困ると予想されることは何ですか。（複数選択可）

選択肢	回答者数	割合
1 庭掃除や植木の手入れ	4	4%
2 急に病気になった時の看病	8	8%
3 車での送り迎え	7	7%
4 安否確認や声掛け	3	3%
5 簡単な大工仕事・家具の移動	3	3%
6 買い物	5	5%
7 家の掃除や洗濯	4	4%
8 通院や薬をもらいに行く事	8	8%
9 家族の介護や世話	10	10%
10 電球交換	4	4%
11 話し相手	4	4%
12 外出の時の付き添い	5	5%
13 市役所への手続き	9	9%
14 食事のしたく	6	6%
15 ゴミだし	5	5%
16 入浴	5	5%
17 郵便物を読むことや書くこと	2	2%
18 請求書が届いた際の支払い	6	6%
19 布団の上げ下ろし	3	3%
20 その他	1	1%

≪その他の回答≫

・呼吸

問2. あなたが、今近所の方に手助けしていることは何ですか。（複数選択可）

選択肢	回答者数	割合
1 庭掃除や植木の手入れ	0	0%
2 急に病気になった時の看病	0	0%
3 車での送り迎え	2	8%
4 安否確認や声掛け	5	21%
5 簡単な大工仕事・家具の移動	0	0%
6 買い物	2	8%
7 家の掃除や洗濯	0	0%
8 通院や薬をもらいに行く事	1	4%
9 家族の介護や世話	0	0%
10 電球交換	1	4%
11 話し相手	2	8%
12 外出の時の付き添い	1	4%
13 市役所への手続き	1	4%
14 食事のしたく	0	0%
15 ゴミだし	1	4%
16 入浴	0	0%
17 郵便物を読むことや書くこと	1	4%
18 請求書が届いた際の支払い	1	4%
19 布団の上げ下ろし	0	0%
20 その他	6	25%

《その他の回答》

- ・挨拶以外特になし
- ・何もしない
- ・ベッドから滑り落ちて立てなくなったとき引き上げに行く

問3. あなたは今、きっかけがあればこれならできると思う手助けは何ですか。（複数選択可）

選択肢	回答者数	割合
1 庭掃除や植木の手入れ	1	2%
2 急に病気になった時の看病	0	0%
3 車での送り迎え	5	10%
4 安否確認や声掛け	9	18%
5 簡単な大工仕事・家具の移動	2	4%
6 買い物	4	8%
7 家の掃除や洗濯	1	2%
8 通院や薬をもらいに行く事	2	4%
9 家族の介護や世話	1	2%
10 電球交換	3	6%
11 話し相手	3	6%
12 外出の時の付き添い	3	6%
13 市役所への手続き	5	10%
14 食事のしたく	0	0%
15 ゴミだし	3	6%

《その他の回答》

- ・当区(大野18区B自治会)は19年4月から、近い将来必ず訪れる超高齢化時代大介護時代に備えて、認知症になっても住み慣れた土地で終生住み慣れた土地で暮らしとおせる地域づくりに取り組み、介護予防(自助)、支えあい(共助)の地域づくりに取り組み、誰もが自分のできる範囲の協働を楽しく実践しています。従い上述の質問に回答は出来ません。

16 入浴	0	0%
17 郵便物を読むことや書くこと	4	8%
18 請求書が届いた際の支払い	1	2%
19 布団の上げ下ろし	1	2%
20 その他	1	2%

**問4. あなたは誰かにいわれなくても手助けができますか。**

選択肢	回答者数	割合
1 はい	7	54%
2 いいえ	6	46%

**問5. あなたは、どんなきっかけがあれば助け合い活動ができますか。（自由記述）**

近所の人から誘われたとき。
手助けを求められた時、自分がそれができれば手助けする。
ボランティア
要望があれば。
直接頼まれれば、可能ならする。
時間があるとき。介護ヘルパーさんのサービスや行政の通常ルートで対応できない内容であるとき。
それを求める人がいて、その人の思いに答えられると思った時。
相手から依頼された場合と、助け合いがお互いの負担にならない時。
本人から手助けを求められた時。自治会や地域からの要請があった時。
本人から求められた時。
困ってる人を見たとき。
ボランティアの募集があったとき。
空き家利用でもあるのですが、町内会単位くらいで空き家を利用した子供食堂ならぬ「高齢者食堂」を運営してそこにお越し頂いて「話し相手」でもいいし「困りごとを言いに」でも良いし、まずは集う場所を色々な人に支えてもらいながら出来れば良いと思う。

**問6. あなたが知っている、高齢者が集っている場所はどこですか。できるだけ具体的に教えてください。（自由記述）**

げんきらり～
知らない。
コメダ珈琲、喫茶ブランタン、あらじん、お通夜・告別式の会場。華の会（メモリアルホール花平）、JAの各せしモニーホール、橋本カントリークラブ
無理なく寄り添える場づくりをしているので、寄り合える処であれば何処でも良い。
自治会の集会所。
朝の道。お散歩されている方が多いです。
紀伊清水駅前の喫茶店。焼き鳥屋さん良平。
図書館。

★アンケートへのご協力ありがとうございました！